

令和3年度静岡市協働パイロット事業審査委員会 審査結果講評

令和3年5月28日

今年度の静岡市協働パイロット事業では、7件の協働事業が提案されました。各企画提案について、新規事業一次審査（書類審査）を実施し、これを通過した6件の企画提案を対象に新規事業二次審査（面接審査）を実施しました。

そもそも「市民協働」とは、社会的課題を、社会全体の中で市民一人ひとりと行政がそれぞれ分担することをいいます。その中で、具体的な個別の課題について、それぞれ自らの果たすべき役割及び責務を自覚して、自主性を相互に尊重しながら、協力し合い、又は補完し合って行うものを「協働事業」といいます。

協働パイロット事業においても、本市全体の社会的課題について、本市と実施団体が協働して取り組んでいく提案を期待するものです。

審査においては、次の6つの評価点に基づいて評価・採点を行いました。

- (1) 市民ニーズや社会的課題を適切に把握しているか
- (2) 協働にふさわしい事業か
- (3) NPOの先駆性・創造性を活かした事業か
- (4) 実行性が十分に感じられるか
- (5) 予算の見積りは適正か
- (6) 本格実施（継続実施）への発展性が見込める事業か

協働パイロット事業は試行的な協働事業ですが、これを契機に本格的な協働事業への発展や、継続的な事業実施へのステップアップを目指すものであるため、「(1) 市民ニーズや社会的課題を適切に把握しているか」、「(2) 協働にふさわしい事業か」及び「(6) 本格実施（継続実施）への発展性が見込める事業か」については、特に重点を置いて評価をしました。

新規事業二次審査の結果、以下の3件の企画提案を令和3年度静岡市協働パイロット事業の候補として選考しました。

1 外国人住民との共生を進める自治会向けのガイドブック作成

里山くらし LABO

2 コロナ禍で寂しさや退屈を抱える病や障害のある子供たちへ芸術を届けるプロジェクト

NPO 法人アートコネクトしずおか

3 しずおか自主夜間教室

NPO 法人開発教育 Funcclub

【審査委員講評】

◎外国人住民との共生を進める自治会向けのガイドブック作成

里山くらし LABO <<採択>>

本企画では、「外国人住民を抱える自治会向けの支援」に関する事業を提案いただきました。

外国人住民に対する支援は多々ある中で、外国人住民を受け入れている自治会に対する支援はあまりなく、当提案はNPOとしての先駆性を活かした事業提案として非常に高く評価され、事業採択となりました。

貴団体はこれまでも自治会活動支援に取り組まれており、優れた実績をお持ちです。本事業が、自治会が多文化共生の一步を踏み出す大きなきっかけとなり、他市のロールモデルとなるような事業となることを期待しております。また、協働パイロット事業終了後も、地元企業などとのタイアップなど、様々な手法を取り入れることで、さらに発展した形での事業実施につながることを期待しております。

◎コロナ禍で寂しさや退屈を抱える病や障害のある子供たちへ芸術を届けるプロジェクト

NPO 法人アートコネクトしずおか <<採択>>

本企画では「病と闘う子供たちのための安らぎと笑顔創出の場の提供」という事業提案をいただきました。

現在、本市は、文化芸術アウトリーチプログラム事業により、小・中学校やこども園などを訪問し、気軽に文化芸術に触れる機会を提供しています。今回提案された事業提案は、病や障がいを持つ子どもたちにもそうした機会を提供するものであることから、本市の施策に合致したものであると考えられます。

コロナ禍において、閉塞感や孤独感を抱く子どもたちは増加傾向にあり、特に病気や障がいを持つ子どもに対するケアは喫緊の課題であると思われます。貴法人の提案はそうした課題を的確にとらえたものであることが高く評価され、採択に至りました。

一方で、現在のコロナ禍の中、病院や障がい者施設に対する取組を行うためには、様々な工夫が必要です。貴団体のこれまでの経験を活かし、良い形で事業が実施されますことを期待しております。

◎しずおか自主夜間教室

NPO 法人開発教育 Func1ub <<採択>>

本企画では「在留外国人及び学習の機会を失った人たちのための学びなおしと交流プラットフォームの場の提供」という事業提案をいただきました。

現在、本市に限らず、全国において外国人移住者が増加傾向にあり、多文化共生社会への移行に伴う外国人移住者に対する教育支援は、本市としても喫緊の課題となっております。また、本事業は、様々な事情で通学ができなかったために学力が身につかず、職業選択を狭められている形式卒業者の方々や、戦争で教育の機会を失ったの方々に対しても、教育支援を行うものです。事業内容としては、教育支援だけでなく、コミュニケーションの練習も同時に行うものとなっており、市民ニーズを的確に捉えていることが評価され、採択となりました。

一方で、本事業を実施するためには行政との密な連携を行う必要があると思われます。そのためにも、貴団体が本市とどのように協働していくかをより磨き上げ、効果的な事業実施体制を構築していく必要があると思われます。

貴団体は、過去にも夜間中学を開催している実績があり、現場をよく理解している団体です。本市のセーフティネットの網の目をより強固なものとするためにも、生徒の生活に寄り添った、温かい事業実施となることを期待しております。

【注記】

協働パイロット事業において採択された事業は、協働事業担当課との協議及び継続実施に関する審査を経て、最長2年間の継続実施ができる可能性があります。継続実施を検討する際は、継続することによる効果や、将来的な事業計画を明確にしてください。

● コロナ禍から派生した生活困窮者への生活相談と物資支援

NPO 法人さくらいろ静岡

本企画は、本市市民自治推進課の課題テーマである「コロナ禍による市民生活への影響に対する取組について」に対する御提案として応募いただきました。

現在のコロナ禍で生活困窮者は増加していると言われており、より手厚い支援が求められています。そうした状況の中、行政書士や弁護士など専門家による法律相談の場を設ける本事業は、市民のニーズに非常にマッチした提案であると評価されました。また、本事業では法律相談だけでなく、生活支援物資を配布することによって、より多くの方々に来ていただくという狙いがあります。また、包括的なサポートも可能としており、迅速な対

応が可能である事業であると考えます。

一方で、市との協働事業として検討した場合、生活支援物資の配布が限定的になると、支援の公平性を保つことができないという懸念があります。また、専門家による法律相談をより多くの方に実施するために、相談可能時間や相談対応人数について、精査が必要ではないかとの意見もございました。

今回は残念ながら不採択となりましたが、貴団体が今回挙げていただいた事業は、生活困窮者支援の取りこぼしを防止するという意味において、非常に有意義な事業であると感じます。今後、本事業提案を深く練り上げていくことによって、より多くの方々に支援の輪が行き届くことを期待しております。

●セッションステージ Heartful jam(ハートフルジャム)

NPO 法人 ONE TENTH プロジェクト

本企画は、本市市民自治推進課の課題テーマである、「コロナ禍による市民生活への影響に対する取組について」に対する事業を提案いただきました。

貴団体が指摘するように、コロナ禍の中で関わりあいの場は減少し、閉塞感を抱く子どもたちは増加しているように思われます。特に、障がいを持った子どもや外国人の子どもはより深刻な状況にあると言えます。貴団体の事業提案は、そのような課題を抱えた子どもたちに向けてのイベントを実施し、心のケアを行うものであり、現在の切迫した社会課題に対するアプローチを行うという点で、非常に有意義な事業であると考えます。また、貴団体は以前から子ども向けのファッションショーを開催してきた経歴があり、本事業は団体の独自性を十分に活かした提案である点について高い評価を受けました。

一方で、本事業は、障がいを持つ子どもや外国人の子どもを対象としていることから、実施にあたっては慎重な配慮が必要と思われる。その点について、より具体的な対策を検討する必要があると思われ、今年度審査については不採択といたしました。

しかしながら、貴団体は非常に高い課題意識や事業実行能力をお持ちであり、上記の懸念はあるものの、検討を重ねることで非常に有意義なイベントを開催することができると考えております。また、本事業は、民間企業などからのスポンサー収入を期待することもできるものであると考えます。本審査委員会としては、本事業がよりよい形で実施されていくことを期待しております。

●「静岡市の老人ホームのご案内」冊子の発行

特定非営利活動法人みなサポ

本企画は自由テーマとして、高齢者のための老人ホーム情報公開のための事業を提案いただきました。

貴団体が指摘するように、高齢者にとって電子上のデータはアクセスしづらく、情報を得ることが難しいという課題があります。本提案は貴団体が持つ情報を活かした冊子作成ということもあり、情報のボリューム感について高い評価を受けました。

一方、専門性に優れ貴重な冊子であるからこそ、作成後どのように周知を行っていくかについて具体的な案をご提案いただきたいという意見がございました。また、本事業は、掲載対象となる老人ホームなどから寄附金を集めることで資金を捻出することも考えられます。

今回は残念ながら不採択となりましたが、貴団体は、独自に本市内の入居施設の見学、取材を行っており、高い事業実行能力と独自性を備えております。今後とも、そのノウハウや独自性を活かし、本市の高齢者支援で御活躍いただければ幸いです。

●子育て施設を通じて、静岡市の取組みを効果的に伝える「ハッピークーポンお知らせページ」

NPO 法人スリーピース

本企画は、本市市民自治推進課の課題テーマである「コロナ禍による市民生活への影響に対する取組について」に対する御提案として応募いただきました。

事業の内容についてですが、子育て施設のクーポン券の発行は、行政では実施が難しい事業です。本提案は、子育て世帯への情報発信やニーズ把握を効果的に行うことができるという点において、市のニーズに合致する事業提案だと考えます。また、行政との協働を行うことで、事業の対象範囲に公立園を含めることができるという点は、本事業を協働で実施する上でのメリットであると評価できます。

以上のように、本事業は市のニーズとマッチしている一方、市民ニーズという側面についてより具体的な検討が必要と考えます。本企画を実施することで、具体的にどのような市民ニーズに応えることができるのかという点について、より深く掘り下げていただき、更なる発展を見据えた事業を企画いただきたく、本審査では不採択といたしました。

貴団体はこれまでも、本市の子育て支援事業に取り組んでこられました。今後とも、子育て世帯に向けて意義ある情報発信をしていただけますことを期待しております。